

快適な睡眠のための照明環境整備に関する研究

野口, 公喜

<https://doi.org/10.15017/1398265>

出版情報：九州芸術工科大学, 2001, 博士（工学）, 論文博士
バージョン：
権利関係：

謝辞

本研究の遂行、および本論文の執筆にあたっては、多くの方々のご指導とご協力をいただきました。

本論文は、九州芸術工科大学 安河内朗教授のご指導によってまとめたものです。適切なご指導とご助力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。また、九州芸術工科大学 栢原裕教授、綿貫茂喜助教授にも、本論文の執筆にあたり、ご指導と有益なご助言を賜りました。ここに深く感謝申し上げます。

本研究の一部の実験は、九州芸術工科大学特殊生体実験室にて行いました。実験の遂行にあたり、藤原睦弘技官、大橋純也助手（現 近畿大学九州工学部講師）にご協力いただきました。また、小林宏光助手（現 石川県立看護大学助教授）には、実験方法から論文執筆まで数多くの助言を賜りました。ここに記して厚く感謝の意を表します。

睡眠実験の遂行、および睡眠データの解析、論文の執筆にあたり、国立精神・神経センターの白川修一郎博士と早稲田大学大学院博士課程の駒田陽子氏には多大なるご指導、ご支援を賜りました。ここに心より感謝の意を表します。

本研究の大半は、松下電工株式会社照明 R&D センターにて行ったものです。当時所長であった西崎清氏、グループリーダーの阪口敏彦氏、池田隆政氏には、この研究の機会を与えていただきとともに、数多くのご指導とご助力を賜りました。オプティックスグループのメンバーには、実験の遂行にあたり、多くのご支援をいただきました。また、松下電工株式会社電器 R&D センターの小山恵美博士には、本研究の全般にわたり多くの有益なご助言を賜りました。改めて各氏に感謝申し上げます。

現在、著者がこのような恵まれた環境で研究に従事することができるのは、私に研究のおもしろさをご教示下さり、現職に導いて下さいました文化女子大学 佐藤方彦教授のご尽力によるものです。ここに改めて深い感謝の意を表します。

最後に、心の支えとなってくれた妻の順子と子供たち、そして両親に感謝するとともに、これらの人々にこの論文を捧げ、今後も研究を通じての社会貢献に向かって努力邁進することで、大きな恩に報いたいと思います。

2001年5月 野口公喜